

育友会奨励賞選考委員会

応募作品に真摯に向き合い評価



副会長 坂本 怜 (経営3父)



毎年楽しみにしている奨励賞の時期がやってまいりました。私が選考に関わらせていただいて早3年目となります。

今年はコロナ禍の中、どれだけの応募があるか心配していましたが、最終的に個人11作品、団体3作品の計14作品の応募がありました。まずは応募してくださった学生たちに感謝を述べたいと思います。

様々な制限がかかる中、学生はどのような経験ができているのだろうと疑問に思っておりましたが、例年以上にバラエティに富みつつ、コロナ禍の中でも工夫をして物事に取り組んでいる生き生きとした学生の姿を読み取ることができました。

今年度の育友会奨励賞選考委員会は15名と多くの委員が参加いたしました。1年生の委員が多いことが特徴で、学生生活の一端に触れるのを楽しみながらも評価するといったことに四苦八苦していたようです。委員の皆様が評価する箇所は人によってまちまち。ときによっては一つの事象に対して真逆の意見・評価をする方もおります。そのように委員の皆様が真摯に作品に向き合った上で今年度の奨励賞が決まりました。

一部の作品は育友会のHPで公開されておりますので、是非お読みいただければと思います。